

トーマス・C. ジェプセン著／高橋雄造訳 女性電信手の歴史

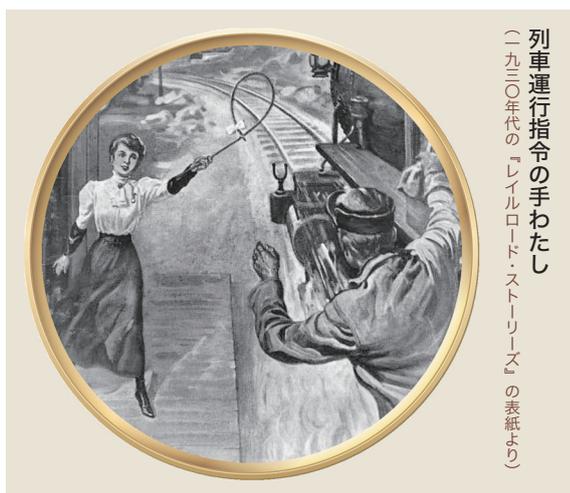
ジェンダーと時代を超えて



ISBN 978-4-588-36417-4 C0022

四六判・上製 326 頁 定価 (本体 3800 円+税)

19世紀の半ば、女性たちに新たな職業空間を提供した電信という技術——それを習得した女性たちは、それまでの「女の居場所」をこえ、鉄道の駅や電信局で男性に伍して働き、巨大電信会社相手のストライキでも果敢にたたかった。西部劇映画や小説にはヒロインとして颯爽と登場してくる。今や忘れられた、「サイバースペース」に生きた先駆的女性群像をドラマティックに描き切った本書は、21世紀の働く女性たちに力強いエールを送るだろう。産業史、技術史、労働史の研究者にも勧めたい一冊である。——お茶の水女子大学名誉教授 **天野 正子 氏推薦**



列車運行指令の手わたし
(一九三〇年代の『レイルロードストーリー』の表紙より)

主要目次

日本の読者へ／第1章 電信業ではたらく女性／第2章 電信オフィスにおける毎日の業務／第3章 社会における電信オペレーターの位置／第4章 電信オフィスにおける女性の諸問題／第5章 文芸と映画に見る女性電信手／第6章 女性電信手と労働運動／第7章 むすび／訳者あとがき／文献／原注／索引

トーマス・C. ジェプセン (Thomas C. Jepsen) 米国ノースカロライナ在住の情報通信アーキテクトで、技術史家でもあり、とくに電信の歴史の研究に力を入れている。著書には、本書のほか、*Distributed Storage Networks: Architecture, Protocols and Management*, John Wiley & Sons, 2003, *Ma Kiley: The Life of a Railroad Telegrapher*, Texas Western Press, 1997 がある。2014年4月現在、電信史と電信で働いた女性の歴史を主題とするウェブサイト <http://www.mindspring.com/~tjepsen/Teleg.html> を持っている。

高橋雄造 (たかはし ゆうぞう) 東京大学工学部電子工学科卒業。元・東京農工大学教授。元・日本科学技術史学会会長。電気通信大学コミュニケーションミュージアム学術調査員。著訳書に、『ラジオの歴史——工作の〈文化〉と電子工業のあゆみ』(法政大学出版局, 2011年), 『博物館の歴史』(同, 2008年), 『ミュンヘン科学博物館』(編著, 講談社, 1978年), 『てれこむノ夜明け——黎明期の本邦電気通信史』(共編著, 電気通信調査会, 1994年), 『ノーベル賞の百年——創造性の素顔』(共同監修, ユニバーサル・アカデミー・プレス, 2002年), 『岩垂家・喜田村家文書』(監修, 創栄出版, 2004年), 『電気の歴史——人と技術のものがたり』(東京電機大学出版局, 2011年), 『静電気を科学する』(同, 2011年), R. S. コーワン『お母さんは忙しくなるばかり——家事労働とテクノロジーの社会史』(訳, 法政大学出版局, 2010年) などがある。

----- 切り取って最寄りの書店にお渡し下さい -----

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 **法政大学出版局** TEL03-5214-5540 FAX03-5214-5542

注 文 書	女性電信手の歴史 ジェンダーと時代を超えて (冊)	書店名・番線
	ISBN 978-4-588-36417-4 C0022 定価 4104 円 (本体 3800 円+税)	
	お名前: _____	
	お住所: _____ お電話: _____	